

2013年6月4日

県庁記者会のみなさま

仙台キリスト教連合被災支援ネットワーク（東北ヘルプ）
事務局長 川上 直哉
連絡先：090-1373-3652 / naoya2naoya@yahoo.co.jp
Touhokuhelp.com

下記の通り、記者会見を開催したく存じます。ご参加を賜れば幸いです。

記

日時：2013年6月7日（金）14：00から
内容：東京大学災害支援ネットワーク・宮城県臨床心理会・仙台キリスト教連合被災支援ネットワーク各有志による「出会う会（仮称）」（下記参照）開催のお知らせ

以上

支援のこれからを願ひ、支援のこれからを考えるための

「出会う会」（仮称）

のおしらせ

「出会う会」実行委員会
世話人 川上直哉

震災から3年目の日々となっております。

500キロの海岸線は、青草の深い中に津波の跡を生々しく残り、放射能の不安は30万人以上の人々に密やかに浸透しています。

その中で、私たちはできることをし、努めてまいりました。多くの方々のご労に心から感謝しつつ、これからのことを見つめております。

過日、東京大学被災地支援ネットワーク代表と、宮城県臨床心理士会会長・事務局長と、仙台キリスト教連合被災支援ネットワーク（東北ヘルプ）事務局長とで、会合が行われました。そこで、これから必要とされる話が話し合われ、一つの企画が生まれました。その企画を、以下のとおり整理し纏めました。お覚え下さり、御参加を賜れば幸いに存じ、記者会見をさせて頂きたく、お知らせをいたします。

会の名称：「出会う会」（仮称）

会の目的：

今後の継続する支援を支えることを目指し、以下の願いを込めた会を開催する。

（1）「2011年の震災による到達点」の確認

95年の震災は様々な意味で「支援」に関わる者の転機となった。今次の震災はどうか。95年の転機との比較を通じ、現在の到達点を確認したい。

（2）「職能ボランティアの出会い」の提供

報酬を制度的に定めた「職業」があり、その職によって得られた能力を用いてボランティアに従事する「職能ボランティア」がある。この視点に立ち、多「職能」者の出会いの場を提供したい。

（3）「支援者を支援するネットワーク」の展望

以上を重ね合わせることで、支援者が互いに支援し合う基盤を創り出せればと期待したい。

最初の会：

6月14日（金）午後6時から、日本基督教団仙台ホサナ教会集会室を会場として行います。会場については、<http://www11.ocn.ne.jp/~hosana/>こちらをご参照ください。

お弁当をご用意いたします（主催者負担です）。人数を把握したく存じますから、御参加の際は前日までにご連絡を頂ければ幸いです。

初回の講師は、臨床心理士で須賀川にて支援活動を展開されている高橋紀子先生です。先生のプロフィールは、以下のリンク先にご覧いただけます。

<http://www.takahashinoriko.com/%E3%83%97%E3%83%AD%E3%83%95%E3%82%A3%E3%83%BC%E3%83%AB/>

高橋先生には、95年を機に臨床心理の世界がどう変わったのか、そして、今どのように変わりつつあるのか、御発題を頂きたくお願いをいたしました。

多くの皆様の御参加をお待ちいたしますと同時に、小さなささやかな会として実りを挙げたく願っております。お覚え下さり、ご都合のつく方はご参加を、また、広く呼びかけなどを、賜れば幸いです。

それでは失礼します。